



GMO REPORT 2014

**2014年12月期
第2四半期決算報告**

2014年1月1日

2014年6月30日

GMOINTERNET

証券コード:9449

株主の皆様へ

「強いところはより強く」
ドメインを起点に、
インターネットの
第一想起ブランドへ

代表取締役会長兼社長 グループ代表

世と寿



成長モメンタムは不変、通期予想は変更なし

当第2四半期累計期間(1-6月)は、インターネットインフラ事業の順調な拡大を中心に、前年同期比12.4%増の売上成長となりました。利益面では、第1四半期における一時コストの計上により減益となりました。しかしながら、既存事業の成長モメンタムは不変であり、また投資回収が進むことから、通期予想の変更はございません。





営業利益は第1四半期から大幅改善

拡大基調を支えるインターネットインフラ事業は、全商材の盤石な成長により2割以上増収となり、新ドメイン「.tokyo」のTVCM費用をこなしながら増益を果たしました。インターネット広告・メディア事業は、商流の変化によりレップ事業が不調となり構造改革を行うと共に、自社商材の開発に注力しております。モバイルエンターテインメント事業は、四半期黒字化は未達となったものの、第1四半期から大幅損益改善となり、第3四半期以降、利益貢献が見込める状況です。インターネット証券事業は、為替取引が19年ぶりの低水準となり、多くの同業他社が大幅減益となる中、内製化によるコスト優位性を活かし、前年並みの利益水準を確保しました。新ドメイン「.tokyo」は、積極的なプロモーションによる効果が表れ、登録件数を拡大し続けています。第一想起ブランドの座を確立し、クロスセルの起点としてグループ事業のさらなる成長に寄与することを期待しております。

連結業績ダイジェスト (2014年4月1日▶2014年6月30日)

▼第2四半期決算のポイント

売上高は堅調に推移、
営業利益は第1四半期から大幅改善

当第2四半期	通期予想
<p>売上高</p> <p> 25,427 百万円</p> <p>(前年同四半期比 6.5% 増)</p>	<p>売上高</p> <p> 105,000 百万円</p> <p>(前期比 12.1% 増)</p>
<p>営業利益</p> <p> 2,709 百万円</p> <p>(前年同四半期比 8.8% 減)</p>	<p>営業利益</p> <p> 12,500 百万円</p> <p>(前期比 13.6% 増)</p>

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	インターネット広告・メディア事業
<p>売上高 11,434 (21.2% 増)</p> <p>営業利益 1,365 (2.9% 増)</p>	<p>売上高 8,234 (3.2% 増)</p> <p>営業利益 399 (32.5% 減)</p>

当四半期のポイント

- 全商材No.1、契約件数536万件・年間60万件ペースで成長
- 「.tokyo」CM費用1.7億円をこなし増益、実力は過去最高益

当四半期のポイント

- アドネットワーク広告が前年同四半期比34%増収し、引き続き好調
- レップ事業の不調に対し、構造改革を実施、自社商品強化

インターネット証券事業	モバイルエンターテインメント事業
<p>売上高 4,792 (15.7% 減)</p> <p>営業利益 1,059 (9.5% 減)</p>	<p>売上高 1,659 (34.7% 増)</p> <p>営業利益 △126 (—)</p>

当四半期のポイント

- 為替取引高が前年比半減となるも、前年並の利益水準に
- FX取引、オンライン証券取引とも口座数は前年比2ケタ増と堅調

当四半期のポイント

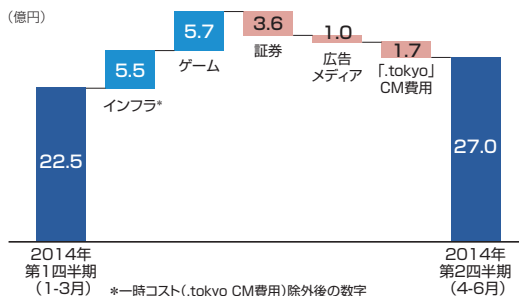
- 第1四半期から、5.7億円損益改善、第3四半期以降、利益貢献へ
- 既存リソースの活用によるヒットタイトル獲得目指す

クローズアップサマリー

売上・最終利益は計画線で推移

(億円)	通期 業績予想	2014 1-6月	進捗率
売上高	1,050	524.5	50%
営業利益	125	49.6	40%
経常利益	125	49.3	40%
最終利益	55	27.2	50%

営業利益は第1四半期から大幅改善



強いところはより強く、 弱いところはナンバーワン商材を持つ

インターネット
インフラ

「より強く」

今後、半永久的に続く事業領域
商材力・マーケティングを強化し第一想起
ブランドへ

インターネット
証券

「より強く」

技術力強化、国内はコストリーダーシップ戦略
でシェア拡大
海外は香港・UK水平展開

インターネット
広告・メディア

「ナンバーワン商材を持つ」

環境変化に対応しレップ事業見直し
技術力重視・自社商材強化で構造改革進める

モバイル
エンターテインメント

「ナンバーワン商材を持つ」

黒字定着、ノウハウ集積
現在のリソースでヒットタイトル獲得目指す

新ドメイン戦略最新レポート

「.tokyo」のプロモーション展開による認知浸透

7月22日、新ドメイン「.tokyo」の一般登録受付を開始しました。東京を拠点とする企業や団体、東京に関するWebサイトに最適なこのドメインを多くの皆様に認知、ご活用いただくために、アイドルグループ「AKB48」のメンバーを起用したプロモーションを展開。第2四半期から第3四半期にかけてTVCM放映、交通広告等を実施しています。TVCM放映開始後、「お名前.com」の検索によるアクセスは40%アップするなど、ドメインに関する第一想起ブランドの座を着実に獲得しつつあります。



東京のドメイン誕生。

.tokyo 920円/年

.com .jp ドメイン取るなら
お名前.com
by GMO

年間10万件ベースで純増し、成長戦略に大きく貢献

「.tokyo」の登録件数は、一般登録受付開始から24時間で累積1万件を突破しました。今後は年間10万件ベースの純増を見込んでいます。また「.tokyo」のリリースを通じて、グループ全体のドメイン登録件数は約1割程の増加が見られ、既存ドメインの押し上げにもつながっています。

ストック商材としての長期的な収益寄与、新たな顧客層へのリーチ、そして他商材へのクロスセルにより、新ドメインは当社グループの成長に多大な貢献をもたらしていきます。

ご案内

NISA 少額投資非課税制度
取扱開始

GMOクリック証券

詳しい情報は当社ホームページで

株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

今回の第2四半期末配当は1株当たり**4円**を実施させていただきます。2014年の年間配当金は1株当たり**16円**、配当性向は**34.3%**を予定しております。

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。下記1~4の内容**すべて**を併用いただくと**12,000円相当**と大変お得な内容になっております。

- 1~4すべて利用可能
- 1.おトクなクーポンサイトGMOくまポンギフト券(合計2,000円相当分)
 - 2.GMOクリック証券におけるGMOインターネット株式買付に係る買付手数料
 - 3.GMOクリック証券における売買手数料
 - 4.GMOインターネットグループがご提供する各種サービスのご利用料

「株主優待のご案内」もご覧ください。

詳細につきましては同封の「株主優待のご案内」に記載の内容をご覧ください。ご利用方法やお得なサービス等をご紹介します。

※ログインには「株主番号」「郵便番号」が必要となります。株主番号につきましては同封の「配当金計算書」をご参照ください。または、三菱UFJ信託銀行株式会社(下記連絡先ご参照)でもご案内しております。

株主優待のご案内



※株主優待の申請手続きやより詳しい情報につきましては専用ホームページをご確認ください。▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 個人投資家さま向けライブ説明会のご案内

個人投資家さま向けの説明会をインターネット(Ustream)で、ライブ配信しております。リアルタイム質疑応答や視聴者特典もごございますので、ぜひご参加ください。

▶ <http://ir.gmo.jp>

にアクセスし、「個人投資家さま向けライブ説明会」のメニューをクリック。過去の動画をご覧ください。

4 お問い合わせ先

●株主優待はこちら(GMOインターネット株主優待窓口)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-3461-2222

(受付時間:土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

●株式事務手続きはこちら(三菱UFJ信託銀行株式会社)

0120-232-7111(東京) 0120-094-777(大阪)

●上記電話番号がご利用できない場合

03-6701-5000(通話料有料)

(受付時間:土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)